新たな制服導入に係る制服デザイン選定委員会(第3回)

【議事録】

令和6年1月19日(金) 18:30~19:45

壬生町立壬生中学校 図書室

1 ごあいさつ (学校長)

2 協 議 ファシリテーター AKASHI S.U.C. 関口様・臼井様

(1) ボトムスについて

(AKASHI S. U. C)

・第2回の協議では、「選定のためのファッションショー」の開催が提案議論された。 しかし、第1回・第2回アンケートにおいて、②番のボトムスが最も人気が高い結果 であったことから、そのアンケート結果を尊重して、「②番のボトムスで決定してよ いのではないか」という意見も多く寄せられた。

(AKASHI S. U. C)

・アンケート結果を尊重して、ボトムスは最も得票の多かった②番に決定し、今後の議 論を進めてよろしいか。【委員 了】



【②番のボトムスの特徴】小さめのチェック・・陽炎(赤) ・黒川 (青) ・白亜の校舎 (白)

(2) ネクタイ・リボンについて

(AKASHI S. U. C)

- ・壬生中の校旗色と同じ「陽炎色(えんじ色)」をベースとしたネクタイを提案する。
- ・近隣校との区別化を図るため、ラインのある柄を6種提案する。

(委員A)

- ・ネクタイやリボンだけを見て議論するのではなく、ジャケットやボトムス等と合わせてみて、議論し判断した方がよい。
- ・トータルコーディネート (ジャケット・ボトムス・ネクタイ) の状態を、写真で比較できるとよい。

(AKASHI S. U. C)

- ・次回、ジャケット等を持参する。複数案を写真で準備する。
- ・ネクタイやリボンの議論は、次回の会議へ持ち越すこととする。



(3) ポロシャツ(夏季) について

(AKASHI S. U. C)

- ・UV機能とストレッチ機能に優れたサンプルを持参した。価格も考慮する。
- ・ボタンダウンで、「タグあり・ポケットあり」「タグなし・ポケットなし」の2パターンがある。色は、白・黒・紺を用意できる。

(委員 E)

- ・まず先に、ポロシャツを導入するか否かの議論も必要だろう。 (庶 務)
- ・昨年度行った保護者アンケートでは、ポロシャツの導入を望む声が、多く寄せられていた。

(委員 B)

- ・ポロシャツと Y シャツ併用がよいのか。それともポロシャツー本化がよいのか。 (庶 務)
- ・昨年度行った保護者アンケートでは、ポロシャツと Y シャツの併用を望む声が寄せられている。アンケート結果を基に、議論する必要がある。

(委員 B)

- ・現行の制服では、生徒の大多数は、Yシャツの下に体育着を着用し、更にその下に下着等を着用している。何枚も重ね着している状態。体育の授業のあとも、体育着を着用し続けている。着替えをせずに、Yシャツの下に着用するのは不衛生であり、健康・衛生上いかがなものかと思う。
- ・ポロシャツを導入した場合、この重ね着をどう解消するか。

(委員 C)

・着替えをする場所(更衣室の設置)や着替えに要する時間等も、同時に検討する必要があるだろう。

(AKASHI S. U. C)

他校の状況等もリサーチし、次回の会議で報告する。

(庶務)

学校でも、生徒会や教職員で検討する。

(委員 D)

- ・ポロシャツを導入する場合、導入方法はどちらがよいのか。
 - ☞ 「指定品扱い」(メーカー・型番を学校で指定)
- ☞ 「推奨品扱い」(指定品に準じた類似品を各家庭の判断で購入しても可)

(委員 B)

・保護者の一人として、「何でもいいよ」(=推奨品扱い)と言われると、購入する際に判断に困る。「何でもいい」という状況は、学校側も返答に困るだろう。 (AKASHI S.U.C)

他校の状況等もリサーチし、次回の会議で議論を継続することとします。

(4) ジャケットの再帰反射性について

(AKASHI S. U. C)

- ・(登下校時の安全のための) 反射性のある素材を用意することができる。
- ・しかし、価格が若干高くなる上、写真撮影の際にブレザーが光ってしまう難点もある。 (委員 E)
- ・ジャケットを来て暗闇の中を帰宅する機会は少ない。冬季は、反射性のあるウィンド ブレーカーをジャケットの上に着用して登下校している。

(5) セーターやカーディガンについて

(AKASHI S. U. C)

- ・ニットセーターやニットベストを併せて導入する学校が増えている。(希望購入)
- ・カーディガンは、着崩れの課題がある。
- ・導入する場合、導入方法はどちらがよいのか。
 - ☞ 「指定品扱い」(メーカー・型番を学校で指定)
 - ☞ 「推奨品扱い」(指定品に準じた類似品を各家庭の判断で購入しても可)

(委員 B)

・ポロシャツと同様に、保護者の一人として、「何でもいいよ」(=推奨品扱い)と言われると、購入する際に判断に困る。「何でもいい」という状況は、学校側も返答に困るだろう。

(AKASHI S. U. C)

他校の状況等もリサーチし、次回の会議で議論を継続することとします。

※ 次 回 2月中旬(2/5月曜日 ~ 2/16金曜日)予定(Forms による日程調整の上、後日通知します)







